

運営推進会議開催状況報告書

事業所名（特別養護老人ホーム春日野園）（自 平成 30 年 4 月 至 令和 2 年 3 月）

| 第 2 回 | | 開催日時 | 令和元年 8 月 31 日（土） | 10:00 ~ 11:15 |
|--------------------------|-----|---|------------------|---------------|
| 参加者 | | 主 な 議 題 | | |
| 利用者 | 0 名 | I、春日野園 取り組み状況の報告（6月～8月） II、地域合同行事、ボランティアについて III、施設への要望、地域・会議員からのお知らせ | | |
| 利用者家族 | 0 名 | | | |
| 事業者 | 5 名 | | | |
| 地域住民代表等 | 2 名 | | | |
| （春日野町内会） | 0 名 | | | |
| （山本社協） | 1 名 | | | |
| （春日野社協） | 1 名 | | | |
| （地域包括） | 2 名 | | | |
| その他（安佐南消防） | 0 名 | | | |
| 主 な 要 望 ・ 助 言 等 | | 対 応 状 況 | | |
| I. 春日野園 取り組み状況の報告（6月～8月） | | <p>I. 春日野園 取り組み状況の報告（6月～8月） パワーポイントにて活動報告を行った。</p> <p>① 特別養護老人ホーム（道方相談）より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申し込みは 10 件/月程度ある。入所は 3 か月～4 か月程度待つて頂いている。どうしても入所を急ぐ場合は他施設を紹介している。 ・自宅に帰る等、入所者が外出できるうちに施設から外出ができるように職員で取り組んでいる。マクドナルドで食事をしたり、カーブが好きな方がカーブ観戦へ行った。外出をご本人だけでなくご家族も一緒に過ごす機会にし、ご家族みんなで楽めるように取り組んでいる。 ・食事に関することに力を入れて取り組んでいる。例えば、季節の食事（おせち、土用の丑の日、クリスマス等）、なつかしの一品（郷土料理）、フルーツバイキング等。 <p>② ショートステイ（山下相談員）より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者は本日現在 102 名。1 日平均人数は 16.0 名。 ・ショートステイでは 3R（リフレッシュ・リラックス・リハビリ）活動に取り組んでおり、次の活動を紹介した。 <p>リフレッシュ：眺めのよいセミパブリックスペースでランチ実施。</p> <p>リハビリ：毎日 14 時からリズム体操の実施。</p> <p>③ デイサービス（澤井部門長）より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者は 8 月 1 日現在で 58 名。週 2 回～3 回の利用ペースが多い。 ・デイサービスの利用目的は介護負担の軽減の為の | | |

利用が中心となっている。また、引きこもりがちとなっているが、社会交流がしたい方の利用もある。そして、認知症の取り組みが多いデイサービスなので認知症の方の利用も多い。

・今年度は、固定プログラムを増やしてきており、毎週講師の先生を招くプログラムが現在 8 つある。デイサービスだけでなく、特別養護老人ホームやショートステイにも講師の先生に入っている。

小島施設長より

・学校関係と定期的に交流している。みつる保育園の来園や春日野小学校との交流会、祇園中学校の職場体験、トリニティカレッジの介護福祉士の実習や広島国際大学の実習を受け入れている。

・納涼祭では、広島文教大学、比治山大学、広島女学院大学、トリニティカレッジ医療福祉専門学校、IWAD 環境福祉専門学校からボランティアで合計 12 名の学生さんと 2 名の先生に手伝っていただいた。活動する中で、施設のことを色々知ってもらえたのではないかな。

・客観的なサービスの向上の機会は次の 3 つと考えている。

① 運営懇談会

② 運営推進会議

③ 福祉サービス第 3 社評価

7 月に開催したご家族を招いての運営懇談会では、実費負担の料金の項目追加や、消費税変更に伴う変更の見込み、新しい定期プログラムについて説明した。また、食事の実食会を行い施設で提供している食事の味や形態の違いについて実際に食べることで理解してもらった。

※運営懇談会資料 参照

II、地域合同行事・ボランティアについて

II、地域合同行事・ボランティアについて

・春日野社会福祉協議会と合同で企画・実施しているふれあい交流会では、恒例のバーベキューを行った。団地内の方の交流を目的に開催してきており、若い夫婦とその子供を中心に年々参加者が増えており、今年は 60 名以上の参加があった。次年度はより多くの方の参加が予測される。運営スタッフの人数も含めて企画していく。職員と地域の方の交流にもなっており、職員の参加も増やしたい。

・来年の 2 月頃に地域と合同で、大規模地震を想定

Ⅲ、施設への要望、地域・会議員からのお知らせ
・春日野祭り 10/27 (火) を予定している。春日野園には人気の射的を、またお願いしたい。

・山本地区は75歳以上の高齢者が約1400人いる。最近は一人暮らしが増えており、しっかりと地域で交流ができるようにしていきたい。

いきいきサロンを行っており、参加者が増えてきている。しかし、会場となっている山本集会所が耐震工事の為に9月から使えなくなる。代わりとなる西公民館で2回開催したが、参加者は減少している。可能なら春日野園を利用できないか？

・山本地区は「湯の壺」という伝説がある。昔、殿様が温泉に入りに来たという伝説で、今もその跡が残っている。温泉を掘ってみてはどうか？

・地域包括支援センターとしてこの場を借りて地域の情報を交換をしたい。

① 春日野の団地で孤立している高齢者の支援を2名している。通いや交流の場を作っていききたい。

② 春日野社会福祉協議会が始められたラジオ体操の状況はどうか？

③ 雨の時の避難場所について
大雨が多く、その時に不安な方がいる。

した災害訓練を行いたいと考えている。次回の運営推進会議では案を出し、皆様の意見を頂いて企画する予定。

・春日野園ではボランティアを募集している。入所者のお話を聞いてもらう傾聴ボランティアをはじめ、施設行事の手伝いやレクリエーションの手伝いなどだ。ボランティア活動をされたら、高齢者活動いきいき活動ポイント事業のポイント付与ができる。募集するにあたり、祇園・長東地域包括支援センターに募集のチラシを置かせてもらえるとありがたい。

Ⅲ、施設への要望、地域・会議員からのお知らせ
⇒分かりました。いつも行列になるので、回転が良くなるよう、鉄砲の数を増やすようにして考えてい。

⇒春日野園の利用は可能です。山本集会所から春日野園へ送迎を行うことが可能で、一度に25名程度が可能です。何回か往復すれば、かなりの人数が春日野園を利用できると思われる。

⇒検討してみたい。

⇒②毎週日曜の朝6:30から開催。現在は夫婦2組の4名が毎回参加している。いきいきポイントを付与している活動なので、少しずつ増えればいいと考えている。

⇒③大雨の為に在宅で不安が大きい方は、春日野園へ電話で連絡してもらえれば、対応していきたい。同時に祇園・長東地域包括支援センターと連携し避難先として協力したい。簡易ベッドもある。

次回の運営推進会議

第3回運営推進会議 令和元年11月16日(土)

10:00~11:00